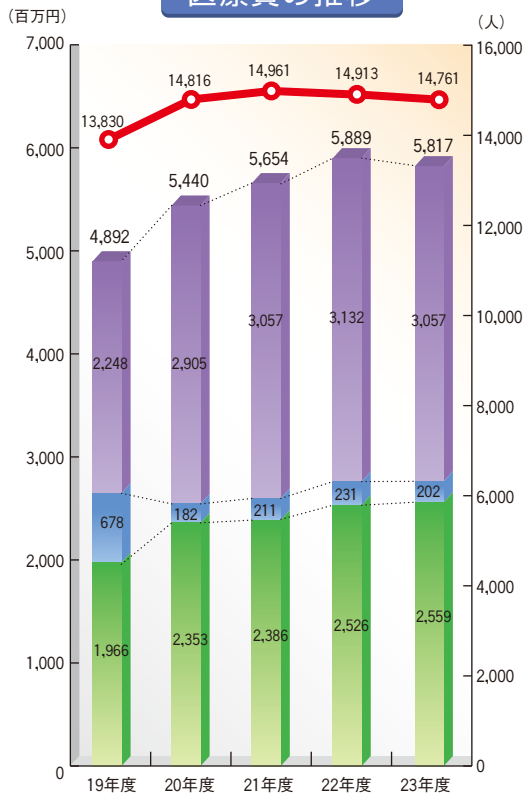


那須烏山市

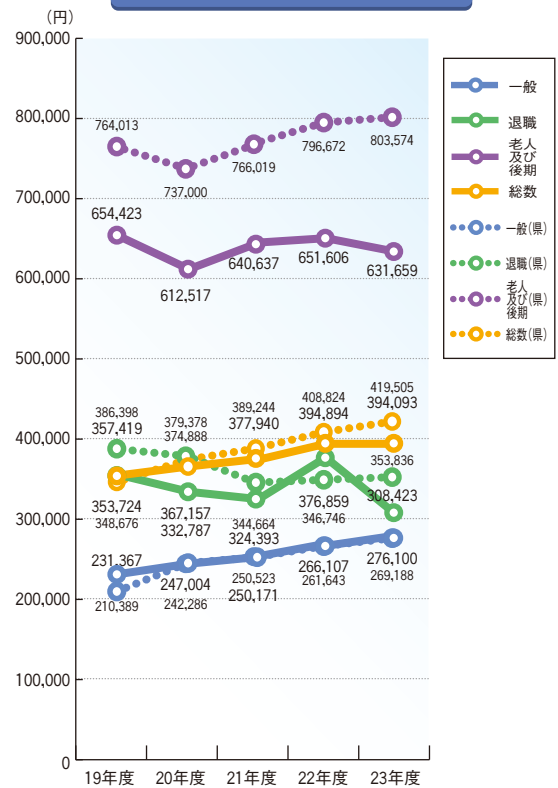
那須烏山市



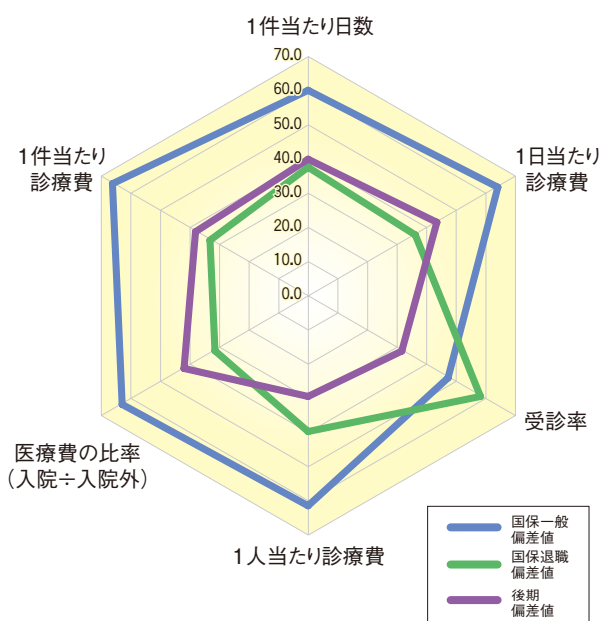
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

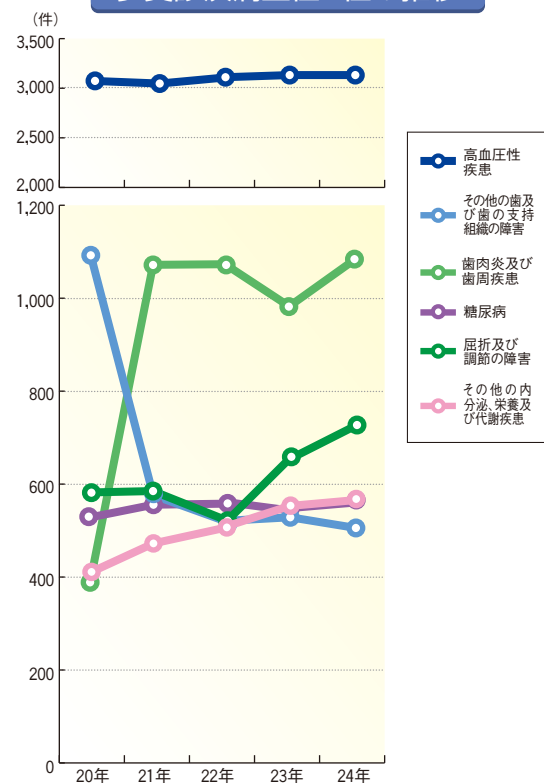


平成23年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)

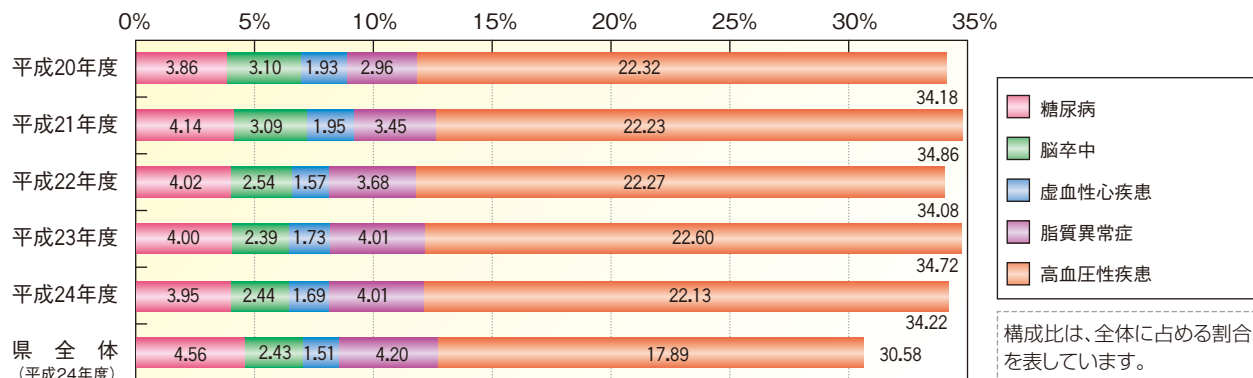


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

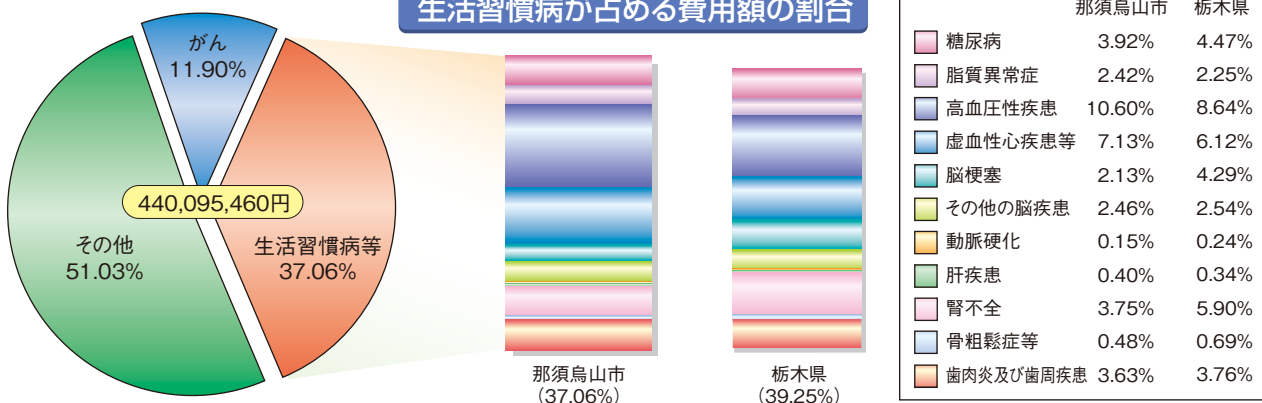
多受診疾病上位6位の推移



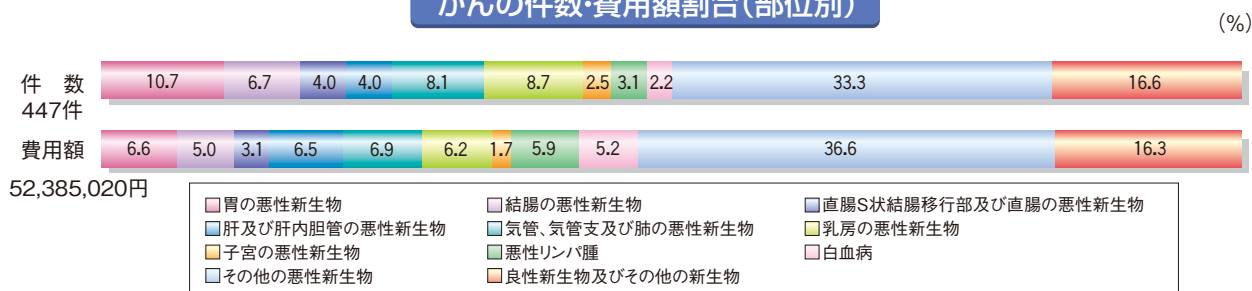
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



那須烏山市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,558,899千円(101.3%)、退職201,708千円(87.3%)、後期3,056,596千円(97.6%)で、全体では5,817,203千円(98.8%)と減少している。()は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は14,761人で、内訳は一般9,268人、退職654人、後期4,839である。前年度と比較すると全体で99.0%と減少している。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は394,093円(801円減)、一般は276,100円(9,993円増)、退職は308,423円(68,436円減)、後期は631,659円(19,947円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般は、受診率以外の諸率がいずれも高い値、退職は受診率以外がいずれも低い値となっており、後期についても、全ての諸率について、低い値となっている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位糖尿病、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも4位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は、年々増加しており、平成20年と比較し、件数・費用額共に、1.4倍になっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも脂質異常症は年々増加しており、平成20年と比べ1.4倍になっている。

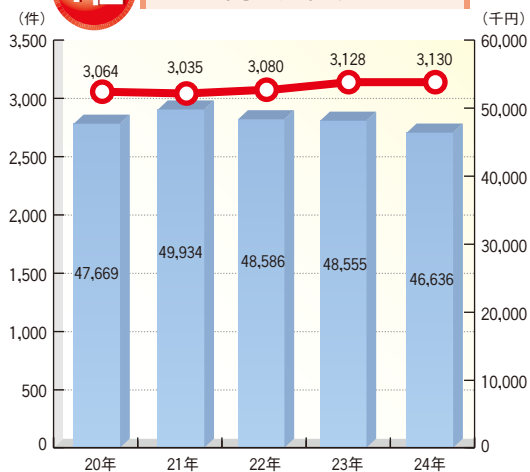
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が440,095,460円で、がんが11.90%、生活習慣病関連が37.06%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.60%、虚血性心疾患等7.13%、糖尿病3.92%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

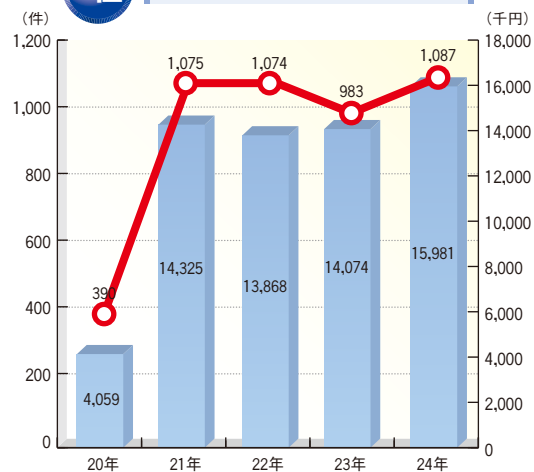
1位

高血圧性疾患



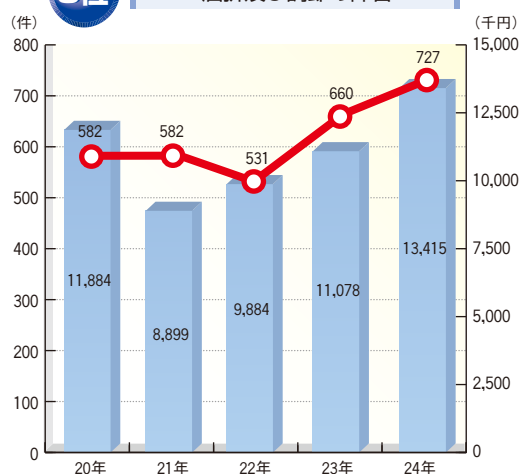
2位

歯肉炎及び歯周疾患



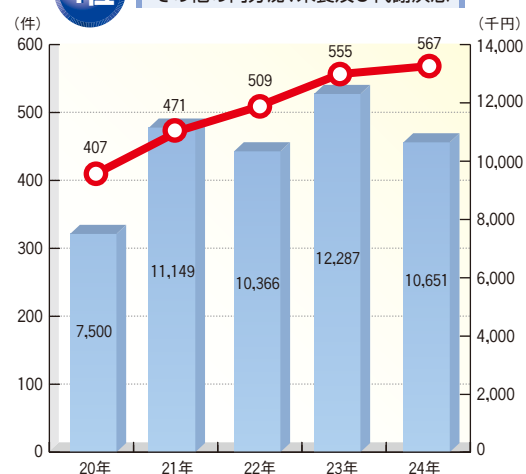
3位

屈折及び調節の障害



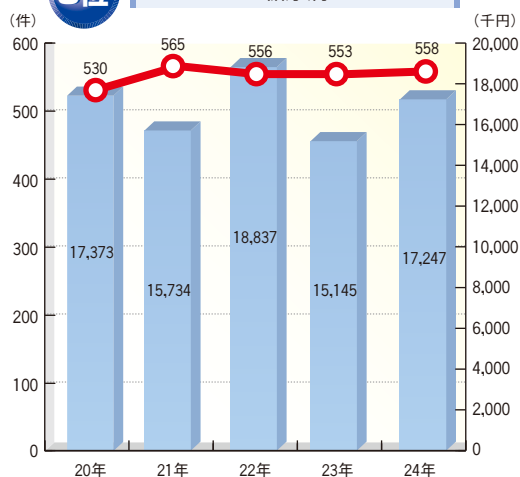
4位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位

糖尿病



6位

その他の歯及び歯の支持組織の障害

